

私がオーストラリア夏期英語研修を選んだ理由は、オーストラリアへ行って生活してみたいという漠然とした夢があったからです。ここでは私が実際に研修に参加して感じたことについて紹介したいと思います。

まず、英語のクラスは 20 人ほどで 3 分の 2 は日本出身の学生で構成されていました。首都大の英語授業（NSE）と似た雰囲気でしたが、留学生が積極的に発言をしており最初は圧倒されてしまいました。また、母国語が違くと英語の発音も若干特色があり、中国出身の学生やコロンビア出身の学生と会話するときには、ほとんど聞き取れなくて困ったりもしました。しかしそのような悩みが英語を学ぶ意欲になり、日が経つにつれて、発音やリスニング力が向上していった気がしました。このクラスでは授業だけでなく課外活動としてビーチへ行き、バーベキューやバレーボールをしたり、誕生日のサプライズをしたりと楽しい時間を過ごせました。

次にホームステイの様子についてですが、私はシンガポール系のホストファミリーでした。そのため毎晩お米を食べることができ、食事で不満を持つことはありませんでした。夕食中はその日の出来事を話したり、週末に訪問する観光地などを教えてくれました。私の誕生日の夜はサプライズでケーキを用意してくれて、家族みんなでハッピーバースデーを歌ってくれました。不便だと感じることもありましたが、ホームステイによって家族のありがたみを再確認でき、とても良い経験ができました。

そして私がこの研修で一番楽しかったことがシドニーのシティを巡ったことです。授業は午前中に終わるため、午後の自由時間や週末に外出していました。一人の時もあれば、首都大のメンバー、クラスの友達、バディープログラムでできた現地の友達などさまざまな人と色々な場所へ行きました。どこへ行ってもオーダーのとき、予約のとき、質問するときなど全て英語が必要になるため勉強にもなりました。周囲の友人がホームシックになっている時期でも、私は「次はどこへ行こうかな」と毎回ワクワクしていたため、一度もホームシックになりませんでした。放課後や週末は自分で行動しないと何もないので、研修に参加したらぜひ積極的に周りに声をかけてみたり、提案してみたりするべきだと思います。

オーストラリアは移民が多いため人種など関係なく親切でフレンドリーな人が多いです。研修参加前は現地の友達ができるか不安でしたが、そんな不安が嘘のようにたくさん友達できました。英語だけでなく、様々な文化や価値観を学びたい人にとってオーストラリアは最適な場所だと思います。この一ヶ月は、とても充実した一生忘れられない期間になりました。



バディープログラムで仲良くなった友達



キャンパスにて首都大の学生と一緒に